

4/19 朝日

ノババジクス製 承認へ

ワクチン4種目 国内生産可能

米ノババジクス社製の新型コロナウイルスワクチンについて、厚生労働省の専門家会は18日、承認を了承した。19日にも厚労相が

正式に承認する。国内で使

えるワクチンとしては、米ファイザー、米モルナ、英アストラゼネカに続き4種類目で、先行の3種とは

の備え

厚労省による

タイプが異なる「組み換え

たんぱくワクチン

の

工業

の供給を受ける契約を結んで

いる。

株でも一定の有効性があると判断したといい。

一方、2回接種後の副反応は、頭痛44・5%、筋肉

痛48・1%、38度以上の発熱50・7%などだった。

「組み換えたんぱくワクチ

ン」は、ウイルスの表面にあるたんぱく質だけを合

成したものを使

る中和抗体

薬「ヤシ」(トロビマブ)

で

接種までの臨床試験(治験)では、発症リスクを90・4%下げることができた。オミクロン株の「BA.2

系統に対しても効果が弱まる

が、それを

かの治療薬が使えない場合

に使用を検討すること」と

扱い方を定めた添付文書の内容を変更した。(市野塊)

1回接種にも使う。対象は18歳以上で、未接種者は3週間以上空けて2回打つ。米国などで実施した2回接種までの臨床試験(治験)では、発症リスクを90・4%下げることができた。オミクロン株流行前のデータ

接種までの臨床試験(治験)では、発症リスクを90・4%下げる事ができた。オミクロン株流行前のデータ

政府は昨年9月、国内での

接種までの臨床試験(治験)では、発症リスクを90・4%下げる事ができた。オミクロン株流行前のデータ

接種までの臨床試験(治験)では、発症リスクを90・4%下げる事ができた。オミクロン株流行前のデータ

政府は昨年9月、国内での

接種までの臨床試験(治験)では、発症リスクを90・4%下げる事ができた。オミクロン株流行前のデータ

政府は昨年9月、国内での